

令和3年8月16日

(臨床研究に関する公開情報)

国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として、さまざまな臨床研究を行なっております。今回、下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画及びその方法についてお知りになりたい場合、研究において検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究のために患者さまの負担や危険が増えることはございません。また、ご了解できなかった場合、患者さまにとって不利益になることは一切ございません。

[研究課題名] 心房細動アブレーション時の強化抗凝固の安全性及び有効性の検討

[研究責任者] 循環器内科 部長 田中 泰章

[研究の概要] 心房細動に対する治療法としてカテーテルアブレーション治療が広く行われています。この治療法は心臓内の電気信号の流れを把握した上で、適切な領域を種々のエネルギー源を用いて焼灼し（やけどを作り）、不整脈を起こしにくくする治療法です。この治療法は、心臓の中にカテーテルを挿入して行う処置であるため、その刺激によって血液が反応し血栓を形成してしまう可能性があります。その血栓がちぎれて脳血管に詰まると脳塞栓症というが重大な合併症となります。それを防ぐために手術中は強力な抗凝固薬（ヘパリン）を点滴で投与しますが、その適切な投与の基準については未だに最終的な結論が出ていません。当院では2016年より、ヘパリンの効果基準を引き上げた強化抗凝固を行うことにより良好な脳梗塞予防効果を得てきました。そこで今回、この強化抗凝固療法の安全性と有効性を検討することといたしました。

[研究の方法]

● 対象となる患者さま

2009年8月から2020年12月までに当院において心房細動のカテーテルアブレーションを行った患者さま

● 利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、既往歴、心臓超音波検査結果、採血検査結果、力

テーテルアブレーション中に得られた心臓電気生理検査所見、治療後の外来にて施行された心電図検査結果などを収集し、解析させていただきます。

[個人情報の取扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さまを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 循環器センター

電話 046-822-2710 (代表) FAX 046-822-9139

\*お問い合わせ内容により、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことをご了承ください